



産経新聞

朝の詩

ティータイム

兵庫県佐用市 森口 志津子 69

拓砂糖が 拓紅茶にける様に 貴方のもとに來ました

天の音から 決まっていたかの様に 響らし始めました

何も語らず 二人で静かに 雨の音を眺めている

午後のティータイム (週者 新川和江)

虚偽捜査報告書ネット流出

原本複写? 7通閲覧可能

陸山会事件

資金管理団体「陸山会」の土地購入をめぐる事件で、小沢一郎民主党元代表(69)の元秘書、石川知裕衆院議員(38)を取り調べた元東京地検特捜部の田代政弘検事(45)が虚偽の捜査報告書を作成した問題に絡み、この捜査報告書とみられる文書などがインターネット上に掲載されていることが4日、分かった。検事の署名と捺印が確認できることから原本を複写したものとみられ、何者かが意図的に流出させた可能性がある。

報告書(5通)のうち7通で約1600ページ分。③の文書には捜査内容をまとめたと思われるチャートも添付されていた。一連の文書は4日の時点で、ロシア語のサイトからダウンロードすることが可能な状態だ。計6通の捜査報告書は、裁判の過程で検察官や報道記者、了承を得た」と認める方針を固めている。一

捜査報告書、検察官や警察官などが事件捜査について、上司などに對し見解や状況を報告するために作成する文書。組織の内部文書としての性格が強く、書きが定められていない場合が多い。裁判の証拠として用いられることは少ないが公文書であり、虚偽記載が認められれば虚偽有印公文書作成罪が成立する可能性がある。

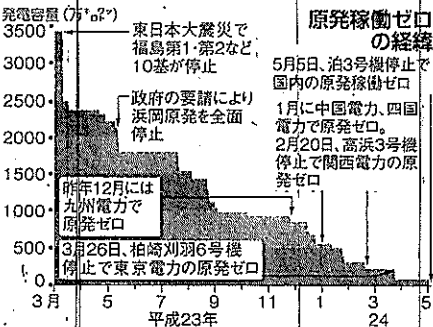
有法律事務所も田代検事も当時の上司の人事上の処分を検討している。小沢元代表を無罪とした4月26日の東京地裁判決は、「事実上」反する捜査報告書を検察審査会に送ることはあつてはならない」と批判した上で、「検察官は作成された経緯や原因を十分調査して対応すべきだ」と真相解明を強く求めた。

掲載された文書は、①平で虚偽の内容を記した捜査した反訳書(1通) ②当時成22年5月17日に田代検事 報告書(1通) ③再聴取の特捜部副部長が上司が作が行った石川議員の再聴取「やり取りを文字に書き記し」一紙の証評評価などの捜査

品に交換するなど検査期間は71日間を予定したが、再稼働にはストレステスト(耐性検査)や地元了解が必要のため停止期間が「未定」としている。泊3号機は、平成21年12月に運転を開始した国内最新鋭の原発で、事故を起こした福島第一原発とは別の加圧水型炉(PWR)原子炉を採用して

電気事業連合会によると、国内の原発稼働がゼロとなるのは、日本原子力発電の2基(東海原発、敦賀原発1号機)体制だった当時、2基が同時停止した昭和45年4月30日、5月4日以来、113面に「計画停電実味」、9面に「産業空洞化」、18面に「電を批判」

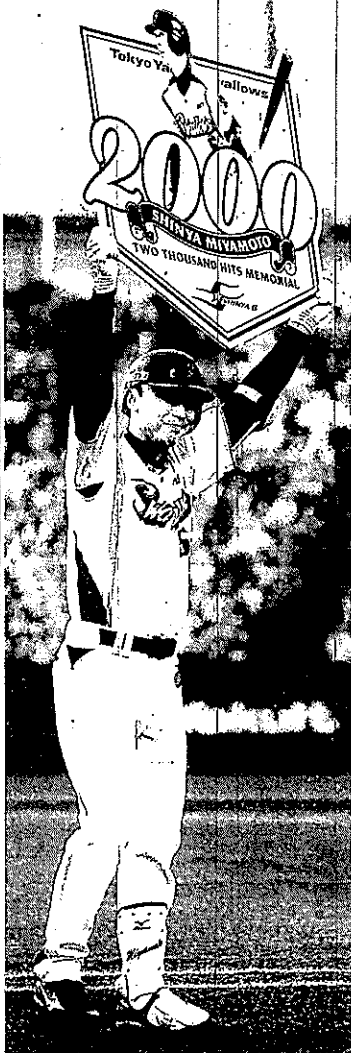
原発稼働ゼロ



泊3号機停止で42年ぶり

国内の原子力発電所50基、止まる。政府は関西電力大飯にゼロとなる。中、唯一運転している北海道 原発3、4号機の再稼働への電力の泊原発3号機(北海道 同意を福井県などに要請して泊村、91万2千キロワット)が、法に立っているが、めどは立っていない。低下させ午後11時、その発電を停止する。原子炉内の核燃料を157本のうち40本前後を新しく

宮本 最年長2000安打



プロ野球ヤクルトの宮本慎也内野手が、奥平小倉正司撮影。41歳5カ月での到達、試合に出られたし、2千安打を打った。阪急の一流になれたかな」とホッとした表情だった。

消費増税 6割評価

産経新聞社が企業に実施した調査で、政府が打ち出す消費増税について、約6割の企業が「計画停電実味」、9面に「産業空洞化」、18面に「電を批判」

日本国内では税と社会保障の一体改革をめぐり、論戦の場が国会に移